

若い緑が綺麗な時期です。でも、先日は夏日と言われるほどに気温が上がり、翌日には5、6度下がるという気温の変化には身体がついていきません・・・。

新学期が始まって3週間。子どもによっては、新生活での変化や影響、緊張等から体調を崩しやすくなる頃かもしれません。それだけに、毎日の休養（睡眠）や食事のとり方をはじめ、休日の過ごし方にも気を付けてあげてください。

明日から3連休、二日登園し5月3日から4連休となります。園の生活リズムをつかみつつある年少児にとっては、いえ年少組の担任にとっては、お休みを少々残念な思いで迎えているようです。

さて、5月の連休を皆さんはどのように過ごされますか？

子どもたちを喜ばせるためにと遠出を計画して、家族がかえって疲れてしまうことのないようにしたいですね。

幼児期に大切なのは、

【自然】と【ゆったり流れる時間】と【静けさ】です。

機械から出る音に囲まれた、刺激が多すぎる環境は、幼い子どもが浸って過ごす場ではないように思います。十分注意してあげてください。

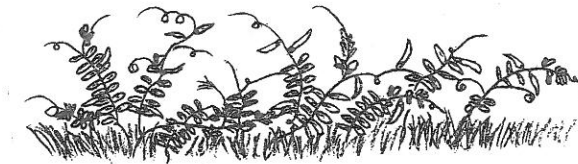
今私たちの生活は、自然からどんどん遠ざかり、人工的な環境の中で過ごすことが増えてきています。そして、時間に追われたり、時間を気にしたりしながら過ごすことに慣れてきています。好ましいことではないですよ。大人でさえ身も心も疲れます。ましてや幼い子どもの心と身体を育てるには、自然を体験させることが大事ではないでしょうか。

自然の色や形・空気・雰囲気などを発見すること、感じることで、自然の不思議や凄さなどに驚き、心躍らせること。自然を肌で感じることで、人としての大事な感覚を育てたり、取り戻したりできるのではないかと思います。

先週から年長児で、カラスノエンドウを見つけ、“ピィピィ豆”（子どもたち曰く）をとって音を鳴らすことに挑戦している子がいます。難しくてなかなか鳴らせなくてあきらめてしまう時もありますが、翌日にはまたピィピィ豆を探しています。あきらめないでやるうちに「ピィ〜〜」と音が出て、とても嬉しそうにしています。

目新しいものや変化に富んだものは子どもの興味を引きますが、そればかりでは表面的な変化にしか目がいかず、感じ・味わい・考える力がしっかりと働きません。活動が受け身にならないようにするためにも、同じことを繰り返してじっくり、たっぷり取り組める時間と環境を整えてあげたいと思います。

道端に咲く名前も知らない小さな草花に、目を向け足を止める【時間と心の余裕】を持った休日を送りたいものですね。



安全教育について

昨年度、6回の避難訓練を全園児と教職員で行ないました。地震や火災、不審者侵入時にどのように行動すればよいか、私たち大人が子どもたちを守る為にいろんな場合を想定して取り組んでいます。今年度も昨年同様に避難訓練は予定していますが、災害に対するものだけではなく、常日頃から安全に対する意識も育てていきたいと考えています。通園においては勿論のこと、各クラスで、遊んでいる時にも“危ないこと”を教えていきたいと思っています。

幼児にとっての安全教育とは、交通ルールを知らせ守らせるということ以前に、生活に関することが多いので、

- ・家の中で走り回らない
- ・外では手をつないで歩く
- ・むやみに物に触らない
- ・お箸を振り回さない 等々

“安全教育＝しつけ”という考え方で、お家でも意識させることが大切だと思います。みんなで一緒に見守っていきましょう！